

国際シンポジウム

どうやって、国際不動産市場の活性化を図るのか？

3月16日(土)

14:00-16:30/参加無料

主催: 日本大学経済学部グローバル
社会文化研究センター

後援: 日米不動産協力機構 (JARECO)

於: 日本大学経済学部
7号館講堂

日本は1990年代の初期にバブル経済が崩壊して以降、20年以上にわたる低成長に苦しんできた。特に不動産価格は1990年代以降、ほぼ一貫して低下し続け、不動産市場に代表される都市住宅関連市場の縮小が止まらない状況にある。それはバブル経済の崩壊というネガティブショックによるものだけでなく、人口減少、超高齢化社会を迎えているという構造的な原因を有するものと考えられている。しかし、政権交代以降の景気の持ち直しや東京オリンピック開催決定などを背景に、これまでとは異なる認識が広範に受け入れられ始めている。また、日本のみならず世界の成長センターであるアジア、環太平洋地域の経済力と連携した市場の活性化を図ろうとする動きも顕在化している。このため、我が国の不動産市場の将来はアウトバウンドのみならず、インバウンドにもにらんだ将来構想を検討することが求められる。

本シンポジウムにおいては、国際不動産開発、投資の要因を探り、どのようなビジネス展開や政策が必要なのかを、アカデミズム、実務の専門家に参集いただき議論を行う。

基調講演:

マーク北林 2019年 NAR-12 地区担当副会長、日本、モンゴル大使

NAR(National Association of REALTORS)のグローバル戦略

パネルディスカッション:

コーディネータ

山崎福寿 日本大学教授

パネリスト (50音順)

大東雄人 JLLリサーチ ディレクター

国際不動産市場の透明度

定行泰甫 早稲田大学講師

制度的要因が国際不動産投資に与える影響

曾根康雄 日本大学教授

中国アジア地域の不動産市場の現状

中川雅之 日本大学教授

国際不動産市場の発展のために必要な政策

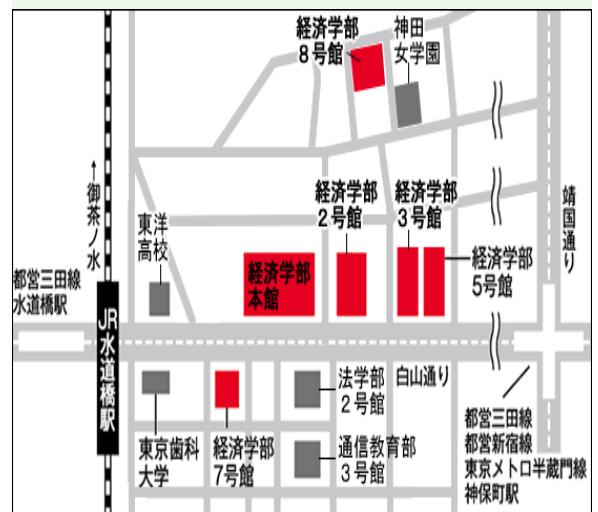
東京都千代田区神田三崎町2-8

JR総武・中央線 水道橋駅 徒歩3分

都営三田線 水道橋駅 徒歩3分

東京メトロ半蔵門線・都営新宿線

都営三田線 神保町駅 徒歩5分



参加申込について

所属・氏名・連絡先を添えて、左記のアドレスに登録してください。当日申し込みも可能ですが、申し込み多数の場合は、この登録を優先いたします。複数名の場合、全員の氏名をお知らせください。

(登録アドレス)

<https://www.supportyou.jp/icanjuku/form/6/>

(御質問のある場合は下記までお問合せください)

nakagawa.masayuki@nihon-u.ac.jp